

会 議 結 果

会議名	令和元年度第1回 西尾市立図書館協議会
日 時	令和元年5月17日（金）午後4時～5時15分
場 所	西尾市立図書館 会議室
出席者	安井会長、尾崎副会長、小嶋委員、中村委員、浅井委員、相庭委員、青山委員、鳥山委員、林委員、大須賀委員
市係等出席者	内藤部次長、原田図書館長、生田主任主査、黒野主任主査
傍聴者	無し
<p>協議会の中で出されたことは以下のとおり。</p> <p>1 あいさつ 安井会長</p> <p>2 自己紹介 出席委員の自己紹介、事務局職員の自己紹介</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 平成30年度事業実績について 黒野主任主査より、「図書館のあゆみ（平成30年度版）」により読書活動の普及、施設・サービスの充実について、図書館利用状況、行事实績を説明。</p> <p>質問：図書館の組織の中で、主任主査が二人いるが、副館長というのは今年はいないのか。 →はい。</p> <p>(2) 令和元年度図書館事業計画及び予算について 生田主任主査より、当初予算、今年度の行事計画（吉良・幡豆図書館の6月からの分）について説明。</p> <p>質問：臨時職員の人数はどのように変化したのか。 →平成30年度と今年度を比較すると、予算的には少し上がったが、人数的には変わっていない。ただ、週に働く日数が増えた人が少しいるため、予算が上がっている。これは本館だけの人数である。</p> <p>内藤部次長より補足説明 →人件費が600万円ほど減額になっているが、予算を作成する前年度の10月現在の数字である。4月の人事異動で図書館は職員が1人増員になっているため、予算上では減額になっているが、今後補正予算で修正をしていく。正規の職員が1人増えている。</p> <p>(3) 各館の運営状況について 原田館長より、一色のモニタリング結果、吉良幡豆の6月からの業者選定審査結果、本館の職員配置、各館の施設管理計画について説明。</p> <p>質問：吉良・幡豆図書館で14名ということだが、この人たちの位置づけというのは</p>	

どういったものか。司書資格はある人か。
→委託社員となる。市が業者に委託し、そこで雇用されている職員。8割が有司書資格者である。

質問：一色（の有資格者）はどうか。
→吉良幡豆より少し低く、6割くらいだったと思う。

質問：一色の運営を評価をする人はどういう人か。
→運営しているもの自身がする自己評価、外部者の評価がある。この資料は、平成31年1月から3月を図書館（市）が評価したもの。そしてこれらを総合的に見て総合評価をする。

（4）その他

生田主任主査より、4月に実施した「西尾っ子読書フェスティバル」の実績報告と平成30年度に図書館に寄せられた市民の声の報告。

質問：ふれあいセンターでいろいろな講座をやっているが、万葉集に関する講座をやりたい。こういった講座の講師を紹介してもらえないか。難しい内容ではない方がよい。

（会長）→愛知大学の黒柳先生は万葉集をやってみえないか。確か吉良町の時に、生涯学習で大学との連携講座でやっていただいたことがある。黒柳先生は幸田町の教育委員長をやってみえた。

→退職された高校の先生にお願いしたことがあった。

質問：まもなく西尾市史新編の第1巻が出るが、何冊くらいあるのか。
→600冊です。そのうち300冊を販売する。
西尾市史新編は今から10年かけて14巻発刊する。基本的に毎年1冊、年によっては2冊の予定である。フルカラーで立派なものになる。

意見：近隣市の現代編を読み比べたが、西尾市のものはとてもレベルが高い。教育の部分を杉浦敦太郎という人が書いている。この人がすごい。ぜひ読んでみてほしい。

内藤部次長 御礼の言葉

会長により西尾市図書館協議会を閉会した。